

田中さん(ジンズ)^(CEO)と水口さん(スタバ)^(CEO)

企業の意義や人材教育語る



トークセッションで会社や社員への思いを語る
水口さん(右)と田中さん

前橋で群馬イノベーション会議
今年で10回目を迎える起業家発掘プロジェクト「群馬イノベーションアワード(GIA)2022」(上共催)の関連イベント「群馬イノベーション会議」が

12日、前橋市の群馬会館で開かれた。トークセッションで、GIA実行委員長の田中仁さん(ジンズホールディングスCEO)とスターバックスコーヒージャパンCEOの水口貴文さんが

モチベーションを高める人材教育や企業の意義について語り、約250人が耳を傾けた。

水口さんは同社スタッフ約4万8千人のうち9割近くがアルバイトと説明。質の高い接客のため「『あなたはなぜ働くのか』を聞く、セッションに先立ち、水

利益と社会的良心の両立を目指す会社のミッション(使命)とバリュー(価値観)に共感してもらえるように心がけている」と語った。同社と一部店舗で協業する田中さんは「企業、ブランドは売り上げや利益を求めるだけではなく、地域や社会とコミットする(関わり合う)必要があると学ばせてもらっている」とした。質疑応答では、GIA2018の大賞受賞者、福島直さんが「事業拡大時に気を付けることは」と尋ね、水口さんは「良い時はシビアに、悪い時こそ楽観的になるべきだ」、田中さんは「調子が良い時ほど、失敗の種をまいていると考えた方がいい」とそれぞれアドバイスした。

セッションに先立ち、水口さんは「人、地球、地域とつながり、意義ある成長を」と題して講演。「他人が出来ないと思って諦めて